35 01 10 05 02 012

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月28日（木）

事務事業	青少年相談支援事業	担当課	こども青少年課	担当係	こども青少年政策係	管理番号	3517
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画施策 大項目	200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令個別計画等	深谷市青少年相談支援事業実施要綱				
中項目	200001 健やかに成長できるまちづくり						
小項目	200003 青少年の健全育成の推進						

事業概要	ひきこもりなどの社会的自立の遅れと不適応にある青少年に対し、ひきこもり等相談室や講演会等を実施するものである。
目的 ※何のために	次代の担い手である青少年のうち、社会的自立の遅れと不適応にある青少年に対して、心身共に健康で社会的に自立することを目的とする。
対象 ※誰・何を対象に	青少年（おおむね１５歳以上（中学生は除く）３４歳以下の者）
手段 ※どのように	ひきこもり等相談室や講演会等を開催する。
成果 ※何を求めるか	ひきこもり等社会的自立の遅れと不適応にある青少年やその家族、関係者に対して、不安の軽減を図ることやその症状について適正な理解をする。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	青少年育成費	青少年相談支援事業	30,000
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ ひきこもり等相談業務	・
・ 講演会の開催業務	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			講演会の開催 引きこもり相談室の設置	講演会の開催 引きこもり相談室の設置	講演会の開催 引きこもり相談室の設置	講演会の開催 引きこもり相談室の設置	講演会の開催 引きこもり相談室の設置	
事業費	予算（現額）		466,000	206,000	203,000	153,000	153,000	
	決算額		0	20,000	30,000	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	20,000	30,000	153,000	153,000	
人件費	従事職員数（人）		0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
	人件費相当試算 ※１		933,480	933,840	943,320	977,760	977,760	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			933,480	953,840	973,320	1,130,760	1,130,760	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	ひきこもり等相談室の開催回数	目標値	回	24.00	24.00	24.00	24.00	4.00	24.00	□
			実績値		24.00	23.00	23.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年２４回（月２回）窓口を開催することを各年の目標値として設定する。							
		実施回数（市保健師対応）									
□	活動指標２	講演会の開催回数	目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	□
			実績値		1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		開催した回数									
■	成果指標１	ひきこもり等相談室の利用者数	目標値	人							■
			実績値		7.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		対象者が不特定多数のため目標設定することができないため設定していません							
		窓口の相談者数									
■	成果指標２	ニート・ひきこもりをサポステへ案内した人数	目標値	人							■
			実績値		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		対象者が不特定多数のため目標設定することができないため設定していません							
□	成果指標３	相談者のうち、自立したものの割合	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		対象者が不特定多数のため目標設定することができないため設定していません							
■	成果指標４	講演会参加者数	目標値	人	0.00	73.00	73.00	73.00	73.00	73.00	□
			実績値		72.00	67.00	67.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２７年度から２９年度までの平均							

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 ひきこもりなどの社会的自立の遅れと不適応にあたる青少年を支援するために、ひきこもり等相談室を月２回開催し、講演会を年１回実施することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 窓口での延べ相談者数は減少しているが、引き続き相談室の周知を図る必要がある。また、講演会は６７名の参加があり、ニートやひきこもりに対して、同じ目線で立つといった新しい視点からの対応に、理解を周知することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 本事業は、自立に向けた青少年とその関係者への支援といった事業であるため、目標値の設定は難しい。今後も引き続き事業を展開する必要がある。

評価者	こども青少年政策係長　小林　功

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	なし。
達成状況 及び その効果	なし。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	青少年相談支援事業	担当課	こども青少年課	担当係	こども青少年政策係	管理番号	3517

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

社会的自立の遅れと不適応にある青少年の自立や、その家族等の不安の軽減を目的に事業を実施している。相談室は、市民へ周知するため、引き続きＰＲが必要である。また、講演会についてはアンケート結果から、社会的自立の遅れについて、多くの方が理解をしたと回答をいただいていることから、今後も引き続き事業を実施する必要がある。

評価者	こども青少年課長　栗田　誠

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

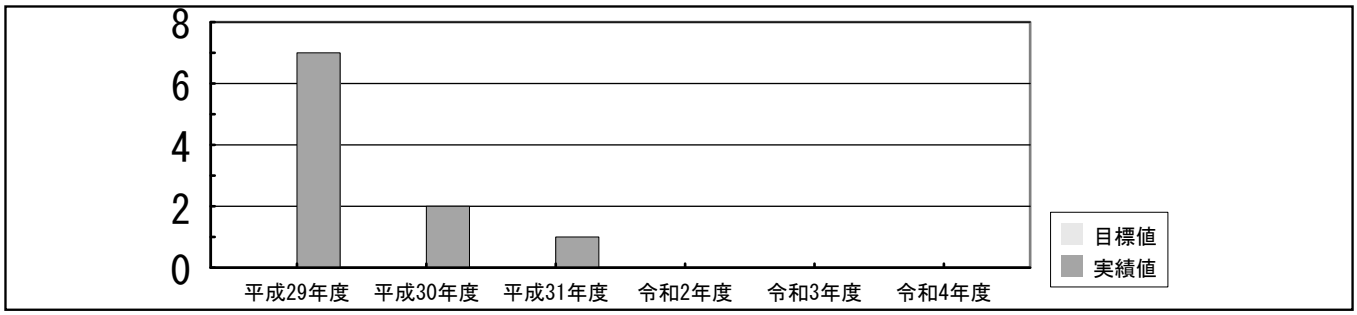
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

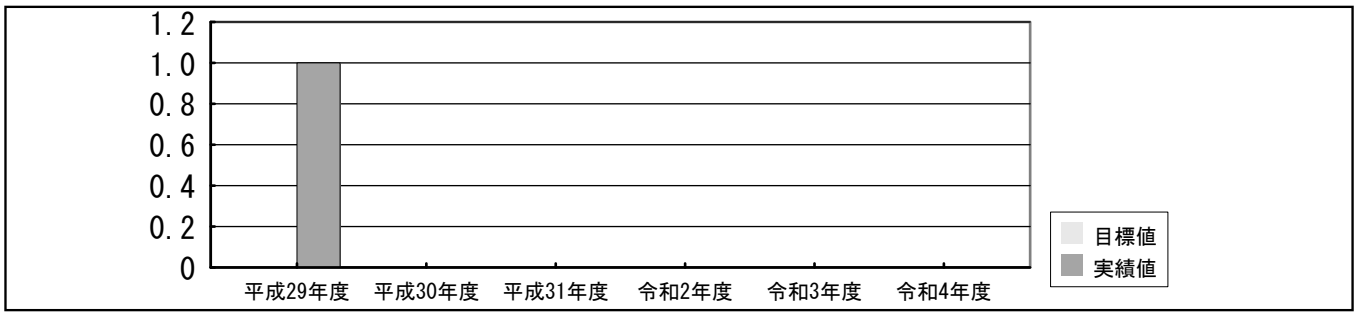
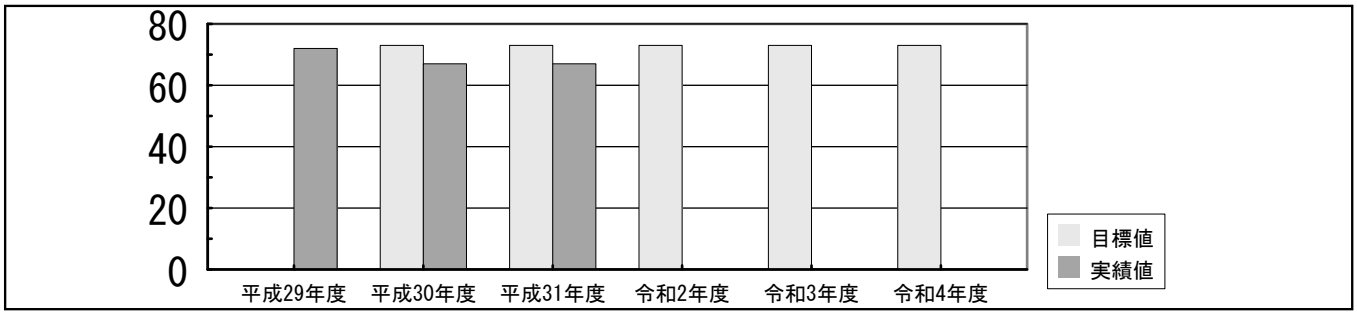
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	ひきこもり等相談室の利用者数



区分	成果指標２	指標名	ニート・ひきこもりをサポステへ案内した人数



区分	成果指標４	指標名	講演会参加者数